

## 米国におけるウェルネス・プログラムの認証の動向

### 目次

- I. はじめに
- II. ウェルネス・プログラムで認証が実施される背景
- III. ウェルネス・プログラムに対する認証基準・仕組みの概要
- IV. おわりに

研究員 後藤 愛

### 要約

近年、米国の企業・団体において、従業員の健康維持・増進および疾病予防を図ることを目的としたウェルネス・プログラムの導入が進んでいる。それに伴い、プログラムを提供する事業者にとって、自社のプログラムの品質の第三者評価を求めるニーズが高まってきている。一方、プログラムの購入者である雇用主としても、プログラムの品質を判断するための基準を求めるようになってきている。こうした中、2008年末から2009年にかけて、ヘルスケア分野の有力な認証機関であるNCQAおよびURACがウェルネス・プログラムに対する認証業務を開始している。

### I. はじめに

近年、米国において、従業員の健康維持・増進および疾病予防を図ることを目的としてウェルネス・プログラム<sup>1</sup>を導入する企業が増加している。当研究所では、米国のウェルネス・プログラムについて、ヘルスケア分野の新しい動向として損保ジャパン総研トピックスにて紹介してきており<sup>2</sup>、本稿はその続編にあたる。

企業・団体においてウェルネス・プログラムの導入が増加する中、ウェルネス・プログラム

を提供する事業者にとって、自社のプログラムの品質の第三者評価へのニーズが高まっている。一方、ウェルネス・プログラムを購入する企業・団体にとっても、高品質のサービスを購入したいという要望が存在し、品質を判断するための基準を求めるようになってきている。こうした中、ヘルスケア分野の有力な認証機関であるNCQAおよびURACがウェルネス・プログラムに関する認証業務を開始した。本稿では、ウェルネス・プログラムを巡る最新動向として、認証を取り上げる。はじめに、ウェルネス・プログラムの認証が開始された背景を説明し、次いで、業務開始から間もないNCQAおよびURACの認証プログラムの概要を紹介する。

<sup>1</sup> ウェルネス・プログラム、ヘルス・プロモーション・プログラム、プリベンション・プログラムという用語が一般的に同義で用いられている。以下、「ウェルネス・プログラム」とする。

<sup>2</sup> 損保ジャパン総研トピックス Vol.2 において「米国の職域におけるウェルネス・プログラムとディジーズ・マネジメント・プログラムとの関連性」、Vol.3 において「米国の職域におけるウェルネス・プログラムの動向」を掲載した。

## Ⅱ. ウェルネス・プログラムで認証が実施される背景

### 1. 米国におけるヘルスケア分野の認証について

米国では、複数の認証機関により、医療プロバイダー、保険者、マネジドケア型健康保険プラン、ディジーズ・マネジメント・プログラムなどヘルスケア関連の広範な事業、プログラムに対して、認証が行われている。各認証機関は、対象とする事業、プログラムごとにその質を評価するために、独自の認証基準を策定し、認証を行っている。また、認証基準は、適宜見直しが行われている。米国における主な認証機関として、NCQA (National Committee for Quality Assurance)、JC (The Joint Commission)、URAC (Utilization Review Accreditation Commission) 等がある<sup>3</sup>。

### 2. ウェルネス・プログラムに対する認証の開始

2008年に実施された調査によると、現在米国では、77%の大手企業・団体がウェルネス・プログラムを導入している<sup>4</sup>。雇用主である企業・団体の多くが、従業員の健康に対して長期的な投資を行うことは、医療コストの低減および生産性向上のために効果的であるとの認識を有しており、そうした認識が、ウェルネス・プログラム導入の誘因になっている<sup>5</sup>。

多くの雇用主がウェルネス・プログラムを導入する中、2008年に、ヘルスケア分野の有力な認証機関であるNCQAおよびURACが、相次いでウェルネス・プログラムに対する認証プログラムを準備していることを公表し、URACは2008年、NCQAは2009年より認証業務を開始した。NCQAは、ウェルネス・プログラムの認証に対するニーズが、プログラムの提供者である事業者、主要な購入者である雇用主双方で高まっていることを、それぞれの当事者のコメントを用いて説明している。まず、事業者側のニーズの高まりについて、Staywell Health Managementの幹部David Anderson氏の以下のコメントを引用している。「我々のようなウェルネス・プログラムを提供する事業者にとって、認証の大きな価値は、質の高いウェルネス・プログラムとは何かが定義づけられることである。認証を受けることにより、我々が質の高いサービスを提供していることが客観的に示される。ウェルネス・プログラムの基準の設定および評価は、質の向上への努力の出発点である。」また、雇用主側については、従業員の健康管理に関する調査を行っているHealth Enhancement Research OrganizationのPresident兼CEOであるBill Whitmer氏の以下のコメントを引用している<sup>6</sup>。「従業員の健康管理は、多くの雇用主に急速に受け入れられている取り組みである。と同時に、この分野はより複雑になり始め、重大な説明責任が生じる可能性がある。ウェルネス・プログラムの質を正確に見極め、組織として説明責任を果たせるようにしておくことは、

<sup>3</sup> 田中滋・小林篤・松田晋哉「ヘルスサポートの方法と実践」(東京大学出版会、2007年)。

<sup>4</sup> ERISA Industry Council, National Association of Manufacturers and INCENT ONE, "2008 Survey: Employee Health & Productivity Management Programs: The Use of Major U.S. Employers" (visited Jul. 18, 2008) <[http://www.nam.org/s\\_nam/sec.asp?TRACKID=&SID=1&VID=1&CID=202901&DID=240685&RTID=0&CIDQS=&Taxonomy=False&specialSearch=False](http://www.nam.org/s_nam/sec.asp?TRACKID=&SID=1&VID=1&CID=202901&DID=240685&RTID=0&CIDQS=&Taxonomy=False&specialSearch=False)>.

<sup>5</sup> Hewitt Newsroom, "Hewitt Survey: Keeping Employees Healthy Remains a Priority for U.S. Companies,

*Despite Short-Term Need to Cut Costs*, (visited Mar 11, 2009),

<<http://www.hewittassociates.com/Intl/NA/en-US/AboutHewitt/Newsroom/PressReleaseDetail.aspx?cid=6389>>.

<sup>6</sup> NCQA News Release June 2 2008, "New NCQA Program to Evaluate Health Promotion", (visited Jun 10, 2009), <<http://www.ncqa.org/tabid/744/Default.aspx>>.

医療費をコントロールし、仕事のパフォーマンスを管理し、従業員のウェルビーイングを向上させようとする我々の取り組みにおける大きな前進である。」

### Ⅲ. ウェルネス・プログラムに対する 認証基準・仕組みの概要

前述のとおり、NCQA および URAC がウェルネス・プログラムの認証基準およびそのガイドラインの公表を行い、認証業務を開始している。本章では、開始後間もない認証業務で使用されている認証プログラムの概要について紹介する。

#### 1. NCQA の Wellness & Health Promotion Accreditation

##### (1) NCQA の概要

NCQA は、1990 年に設立され、ヘルスケアの品質向上を目的とした各種事業を展開している非営利組織であり、医療サービスを提供している組織に対する認証事業を実施している<sup>7</sup>。NCQA が開発した、健康保険プランにおける治療およびサービスに関するパフォーマンスを評価するツールである Healthcare Effectiveness Data and Information Set (HEDIS) は、米国の健康保険プランの 90%以上が利用している<sup>8</sup>。また、消費者が健康保険プラン購入の際の参考として活用できるよう、ヘルスケア関連組織の認証状況および医療のパフォーマンスに関する情報を提供している。

<sup>7</sup> NCQA のホームページ, “About NCQA”, (visited Aug 25, 2008), <<http://www.ncqa.org/tabid/675/Default.aspx>>.

<sup>8</sup> NCQA のホームページ, “HEDIS & Quality Measurement”, (visited Aug 25, 2009), <<http://www.ncqa.org/tabid/59/Default.aspx>>.

##### (2) 認証業務開始までの経緯

NCQA は、ウェルネス・プログラムの認証プログラムを Wellness & Health Promotion Accreditation と称している。認証基準、評価手法および認証プロセスは、「Standards and Guidelines for Accreditation in Wellness & Health Promotion<sup>9</sup> (以下、「ガイドライン」とする。)」として公表されている。ガイドラインの開発にあたり、2008 年 6 月 2 日に草案が公表され、6 月 30 日までパブリックコメントが募集された。パブリックコメントを踏まえて草案の修正が行われた後、認証を希望する組織が募集され、同年 12 月の時点で 16 の組織が認証を申請した。認証調査は 2009 年 4 月 1 日より開始され<sup>10</sup>、その後、2009 年 7 月に Blue Cross and Blue Shield of Kansas City が最初に認証された<sup>11</sup>。現在では、申請した 16 の組織のうち 12 の組織が認証されている<sup>12</sup>。

##### (3) 認証の対象となる組織

NCQA は、認証の主たる対象として、ウェルネス・プログラムを提供する以下の組織を挙げている<sup>13</sup>。

- ・ 健康保険プラン
- ・ DM 事業者

<sup>9</sup> NCQA, “Standards and Guidelines for Accreditation in Wellness & Health Promotion”. (2009).

<sup>10</sup> NCQA News Release December 2 2008, “Sixteen Organizations Commit to Review under NCQA’s New Wellness & Health Promotion Accreditation”, (visited Dec 10, 2008), <<http://www.ncqa.org/tabid/917/Default.aspx>>.

<sup>11</sup> NCQA News Release July 23 2009, “Blue Cross and Blue Shield of Kansas City Becomes Nation’s First Organization to Receive NCQA Accreditation for Wellness & Health Promotion”, (visited Jul 25, 2009) <<http://www.ncqa.org/tabid/1048/Default.aspx>>.

<sup>12</sup> CareFirst News Releases November 23 2009, “CareFirst Earns NCQA Accreditation for Workplace Wellness”, (visited Nov 26, 2009), <[http://www.carefirst.com/media/NewsReleasesDetails/NewsReleasesDetails\\_20091123.html](http://www.carefirst.com/media/NewsReleasesDetails/NewsReleasesDetails_20091123.html)>.

<sup>13</sup> NCQA News Release December 2 2008, *supra*.

- ・ 健康行動支援事業者 (Managed Behavioral Healthcare Organization)
- ・ ウェルネスおよびヘルス・プロモーション・プログラム事業者

#### (4) 認証評価の概要

##### ①認証基準および評価手法の枠組み

認証基準として、ウェルネス・プログラムの構成要素ごとに設定された 12 個の WHP Standard (Wellness & Health Promotion Accreditation Standard) が使用される(《図表 1 参照》)。それぞれの WHP Standard の中に具体的な評価項目が設けられており、評価項目の達成状況に応じて 5 段階で評価が行われ、評価に応じた点数が与えられる。認証を受けられる水準に達しているか否かは、全ての評価項目で得た点数の合計により判断される。認証を受けようとする組織にとっては、WHP Standard により自社のプログラムの質の水準を確認することが可能である。

《図表 1》 基準 (WHP Standard) の一覧

	基準(WHP Standard)
1	雇用主および健康保険プラン提供者との契約
2	プライバシーおよび守秘義務
3	顧客の参加を促す方法
4	健康状態のアセスメント
5	リスクの特定および階層化
6	セルフマネジメントツール
7	ヘルスコーチング
8	権利および義務
9	効果測定
10	業務委託
11	インセンティブマネジメント
12	WHPパフォーマンスの報告

(出典) NCQA, “Standards and Guidelines for Accreditation in Wellness & Health Promotion”. (2009).より損保ジャパン総合研究所作成。

##### ②認証プロセス

認証は、以下のプロセスに基づいて行われる。

- ・ 申請  
認証を受けようとする組織が、所定の調査ツールに社内文書等の必要書類を添えて NCQA に認証の申請を行う。
- ・ 書面審査 (Offsite Survey)  
次いで、提出された書類の審査が行われる。書面審査は、NCQA の審査研修プログラムを修了した審査員により実施される。なお、書面審査の過程で必要に応じ、電話によるヒアリング等の補足調査が実施される。
- ・ 訪問審査 (Onsite Survey)  
書面審査実施後、審査員が組織を訪問して実地の審査が行われる。
- ・ 審査委員会 (Review Oversight Committee) による判定  
審査員による審査結果は、NCQA の審査委員会に提出され、審査委員会において認証の要否が決定される。

##### ③認証の有効期間

認証の有効期間は通常 2 年間であるが、一定の基準に合致した場合、有効期間が 3 年間となる。

## 2. URAC の Comprehensive Wellness Accreditation Program

### (1) URAC の概要

URAC は、1990 年に設立された非営利の認証機関である。設立当初は、医療資源利用調査<sup>14</sup> (utilization review) を行う組織や保険会社・マネジドケア型健康保険プランにおける医療資源利用調査部門の評価を行っていたことか

<sup>14</sup> ヘルスケアサービスの質を高めるため、患者に供給される医療サービスの効率性について調査することである。



ら、名称を Utilization Review Accreditation Commission としていたが、健康保険プランや医療プロバイダーの認証に業務を拡大したことを機に、1996年から名称の頭文字である URAC を法人名としている<sup>15</sup>。

## (2) 認証業務開始までの経緯

URAC は、ウェルネス・プログラムの認証プログラムを Comprehensive Wellness Accreditation Program と称している。認証基準、評価手法および評価プロセスは、「Wellness Accreditation Guide, Version 1.0<sup>16</sup>」として公表されている。認証基準等の開発にあたり、はじめに草案が作成され、2008年6月24日から8月7日までパブリックコメントが募集された<sup>17</sup>。パブリックコメントを踏まえて同年8月から9月に草案の修正が行われ、11月に評価の概要が発表された<sup>18</sup>。同年12月18日には、5つの組織が認証され、6つの組織が審査中であることを発表している<sup>19</sup>。現在は、10の組織が認証され、3つの組織が審査中である<sup>20</sup>。

<sup>15</sup> 前掲注3。

<sup>16</sup> URAC, “Wellness Accreditation Guide, Version 1.0”, (2009).

<sup>17</sup> URAC News Release June 24 2008, “URAC releases standards and measures for wellness programs for public comment”, (visited Jul 5, 2008), <<http://www.urac.org/press/cmsDocument.aspx?id=593>>.

<sup>18</sup> URAC News Release November 19 2008, “URAC announces accreditation standards for Comprehensive Wellness programs”, (visited Dec 20, 2008), <<http://www.urac.org/press/cmsDocument.aspx?id=617>>.

<sup>19</sup> URAC News Release December 18 2008, “URAC names first companies to achieve national accreditation under Comprehensive Wellness Standards and Measures”, (visited Dec 20, 2008), <<http://www.urac.org/press/cmsDocument.aspx?id=624>>.

<sup>20</sup> URAC, “URAC Directory of Accredited Companies”, (visited Nov 26, 2009), <<http://www.urac.org/directory/DirectorySearch.aspx>>.

## (3) 認証基準、評価手法および評価プロセスの概要

ウェルネス・プログラムに使用される認証基準は、ヘルスケア分野の全ての認証に用いられる「Core Standards (Module1)」に、ウェルネス・プログラム固有の基準である「Comprehensive Wellness Standards (Module2)」および「Wellness Performance Measures and Reporting Standards (Module3)」(Module2 および Module3 を合わせて Comprehensive Wellness Accreditation と称している)を組み合わせたものである。このように、ヘルスケア分野共通の認証基準をベースとして、対象となる事業・プログラム固有の認証基準を組み合わせて使用する方式を、URAC は「モジュール型の認証システム (modular accreditation system)」と呼んでおり、URAC の認証基準の特徴となっている。

Core Standards、Comprehensive Wellness Accreditation それぞれに複数のカテゴリーが設けられており、さらに、カテゴリーの中に具体的な評価項目が設定されている。Core Standard のカテゴリーを《図表2》に、Comprehensive Wellness Accreditation のカテゴリーを《図表3》に示している。評価項目ごとにどの程度求められる質を充足しているか3段階で評価され、段階に応じた点数が与えられる。認証が得られる水準に達しているか否かは、合計点数で評価される。

認証プロセスは、NCQA とほぼ同様であり、申請、書面審査、訪問審査、委員会による判定の順で認証手続きが進む<sup>21</sup>。認証の有効期間は

<sup>21</sup> なお、URAC では、Accreditation Committee および Executive Committee の2委員会が設置されており、Accreditation Committee が書面審査および訪問審査のレポートを踏まえた議論を行った後、Executive Committee が最終的な認証段階を判断することとなっている。

2年間である。

《図表 2》 Core Standard のカテゴリーの一覧

	カテゴリー
1	組織体制
2	方針および手順
3	コンプライアンス遵守
4	部門間の連携
5	委託業務の概観
6	マーケティングおよび販売コミュニケーション
7	顧客との取引関係
8	情報管理
9	質のマネジメント
10	スタッフの質
11	スタッフのマネジメント
12	医療スタッフの信任状提出および役割の監視
13	ヘルスケアシステムの連携
14	顧客の保護およびエンパワメント

(出典) URAC, “Wellness Accreditation Guide, Version 1.0”, (2009)より損保ジャパン総合研究所作成。

《図表 3》 Comprehensive Wellness Accreditation のカテゴリーの一覧

モジュール	領域
モジュール2: Comprehensive Wellness Standards	プログラムの範囲
	アセスメント
	働きかけ
	統合
モジュール3: Wellness Performance Measures and Reporting Standards	評価
	測定項目

(出典) 図表 2 に同じ。

## 株式会社 損保ジャパン総合研究所

〒160-8338 東京都新宿区西新宿一丁目  
26 番 1 号 損保ジャパン本社ビル 37 階

TEL 03 (3348) 6124 FAX 03 (3348) 6146

URL <http://www.sj-ri.co.jp>

## IV. おわりに

現在米国では、ヘルスケア制度改革に向けた動きが進んでいる。このヘルスケア制度改革にあたり、オバマ大統領は 2009 年 2 月発表の 2010 年度 (2009 年 10 月～2010 年 9 月) 予算教書において、ヘルスケア改革に関する 8 原則を示した。この原則を踏まえ、連邦政府のヘルスケア制度改革関連サイトには、必要とされる 8 つの行動が明記され、その中の 1 つとして「予防 (Prevention) と健康増進 (Wellness) への投資」が掲げられている<sup>22</sup>。また、2009 年 5 月には、ウェルネス・プログラムに関して優れた取り組みを実施している 6 社の経営者および労働組合 1 団体が、職場の健康およびウェルネスに関する取り組みについてオバマ大統領にプレゼンテーションを行った<sup>23</sup>。こうした流れの中、今後ますます職域のウェルネス・プログラムについてのニーズが高まるとともに、今回紹介したウェルネス・プログラムの質の確保のための認証の役割が一層高まることが予想される。当研究所としては、今後も継続して米国におけるウェルネス・プログラムの動向を調査し、公表していく予定である。

<sup>22</sup> 米国のヘルスケア改革の動向については、田中健司、久司敏史「米国のヘルスケア改革の動向-ヘルスケア改革法案の概要と法案審議をめぐる動向」(損保ジャパン総研トピックス Vol.4, 2009 年)を参照のこと。

<sup>23</sup> The WHITE HOUSE PRESIDENT BARACK OBAMA, “REMARKS BY THE PRESIDENT AFTER ROUNDTABLE WITH BUSINESS LEADERS TO DISCUSS EMPLOYER HEALTH CARE COSTS”, (visited Sep 7, 2009), <[http://www.whitehouse.gov/the\\_press\\_office/Remarks-by-the-President-after-Roundtable-with-Business-Leaders-on-Health-Care-Costs/](http://www.whitehouse.gov/the_press_office/Remarks-by-the-President-after-Roundtable-with-Business-Leaders-on-Health-Care-Costs/)>.